公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース
ハイライトよねやま
Vol.233
2019年8月13日
発行

1. “絆 in モンゴル”が開催されました

7月27・28日の2日間、モンゴルの首都ウランバートルにて、米山学友による第2回世界大会“絆 in モンゴル”（主催：モンゴル米山学友会）が開催されました。

27日午後、Corporate Hotel and Convention Centreで開かれた式典には、世界16の国・地域出身の学友、ロータリアン、家族など、総勢548人が登録。日本を含め、モンゴル以外からのゲストが383人、モンゴル国内の学友や家族、ロータリアン、来賓が165人と、これまで以上の盛大な会となりました。

来賓として、当会の齋藤直美理事長、小沢一彦名誉理事長をはじめ常務理事、理事、評議員、ガバナー、ガバナーエレクト、パストガバナーなど多くの日本のロータリー役員に加え、モンゴル国のダムディン・ツォグトバータル外務大臣や高岡正人在モンゴル日本大使も出席。オープニングに上映されたドキュメンタリー映像と、最後にモンゴルの学友全員が登壇して披露されたオリジナルソング「米山の絆」が会場を沸かせました。この式典の様子は、当日のモンゴル国内のニュース番組で報じられ、ロータリーと米山記念奨学事業のＰＲにも繋がりました。

格調高い式典の後は、ダンスエリアをしつらえた華やかなパーティールームに場所を移して懇親会がスタート。モンゴルの有名な歌手も登場し、歌に合わせて踊ったり、チャリティオークションで盛り上がり、再会や新しい出会いを喜び合う参加者の笑顔と熱気が、最後まで会場をヒートアップさせました。

翌28日は、ウランバートル郊外のツーリストキャンプで、今回のために特別にミニナーダム（遊牧祭体験）が開催され、参加者は、モンゴル相撲や弓矢、馬術など、モンゴルの伝統文化を堪能。広大な草原の解放感の中、思い思いに楽しむ姿が見られました。

この2日間の公式行事だけでなく、空港での出迎えや移動、食事、観光を含めてモンゴル米山学友会が全面的にバックアップし、参加者の要望に応えて、前夜祭や新モンゴル学園見学、ビジネスフォーラムなども企画。2年前の第1回“感謝 in 熊本”大会でバトンを受けた同学友会が、ジャンチブ・ガルバドラッハ実行委員長、オイドブ・バトゲレル会長のリーダーシップの下、メンバー全員の総力を挙げて、ゲストを歓待するために奮闘してくれたことが十二分に伝わりました。

掲げたテーマの通り、国を越えた米山の“絆”の強さ、温かさを皆で噛みしめ、学友の感謝の思いや活躍を実感できた今回の素晴らしい大会について、『ロータリーの友』10月号のよねやまだより「米山月間特集」でも詳しくご報告します。どうぞお楽しみに！

2. よねやま親善大使ボロルトヤさん退任

昨年７月から第３代よねやま親善大使として活動してきたエンフボルド，ボロルトヤさん（モンゴル／2010-12／米沢ＲＣ）が、この９月から拠点をアメリカに移すことになり、今月をもって退任することとなりました。

前述の“絆 in モンゴル”式典でも、よねやま親善大使を代表して登壇するなど大活躍したボロルトヤさんは、その最後の活動として８月４日、茨城県つくば市で開催された第 2820 地区米山合同セミナーに出席。午前の分科会では、米山奨学生対象の卓話研修会に講師として参加し、自身の経験から卓話のポイントをアドバイス。午後は、クラブ米山委員長やカウンセラーを交えた全体会議で、親善大使として最後のスピーチに臨みました。

「米山奨学生になって一番変わったのは『考え方』。米山の事業は、人をポジティブにし、夢や自信を与えてくれる。奨学生もロータリアンの皆さんも、いろいろな出会いと挑戦を楽しみ、たくさん交流してください」と結び、会場から温かく大きな拍手が送られました。

よねやま親善大使としての１年余りで、日本全国からの招へいに応えて 20 回以上の講演を務めたボロルトヤさんに、当会の塙東男副理事長から感謝の盾が贈呈されました。

3. 寄付金速報 ―2019-20 年度も順調な滑り出し―

2019-20 年度の最初の月となる７月の寄付金は約２億 3,000 万円でした。前年度と比べて 0.02％減（普通寄付金:0.3％減、特別寄付金:0.8％増）約４万円の減少と、直近 13 年間で最高額だった前年度とほぼ同額となり、引き続き好調なスタートを切ることができました。ご寄付をいただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。

米山記念奨学事業は、日本のロータリーが世界に誇る「ロータリー日本国内全地区合同プロジェクト」です。今年度もさらなるご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

4. 2020 年４月採用米山奨学生の募集開始

2020 年４月採用の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山記念奨学委員会から報告され、当会選考・学務委員会および常務理事会にて承認された指定校は、全国で 558 校（前年度 540 校）。指定校からの被推薦者数は 1,821 人（同 1,784 人）で、この中から新規奨学生 588 人[*1] が選ばれます。***1 継続生辞退、奨学期間６ヶ月の奨学生・地区奨励奨学生採用により変動あり**

今回、初指校は 13 校（同９校）。数年ぶりに指定校に復活した大学も 26 校に上りました。６地区が例会に通える範囲の地区外の大学を指定。また、大学・大学院以外を対象とする地区奨励奨学金は、15 地区（同 12 地区）33 校（同 23 校）となりました。各地区米山記念奨学委員会では毎年、大学説明会や担当者との懇談を行い、事業の目的に適う多様で優秀な人材を採用しようと努力しています。

当会から８月７日に、全指定校に宛てて、メールで通知しました。指定校からの応募締切は、例年通り 10 月 15 日となります。

※指定校一覧や、各奨学金プログラムの募集要項・申込書式は、当会ホームページにて公開しています

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)